

入院診療計画書(外傷一般)

ID番号 @PATIENTID
病名 (他に考える病名)

氏名 @PATIENTNAME 様

症状

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	/	
経過	病日1日目 (入院当日) ~ 病日2日目	病日2日目 ~ 退院日
目標	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸、血圧、意識が安定している。 痛み止めの薬を使用しながら、痛みのコントロールができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸、血圧、意識が安定している。 痛み止めの薬を使用しながら、痛みのコントロールができる。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院の時間によっては超音波検査やCT検査、採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 怪我の状況により超音波検査やCT検査、採血があります。
治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で心電図モニターと体の酸素化を測定するモニターを装着します。 怪我の状況により傷の処置をします。 必要時は酸素吸入を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 怪我の状況により傷の処置があります。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温を測定します。怪我や痛みの程度をみていきます。 * 痛みが強くなってきたり、痛いところが増えてきた時には我慢しないで教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温を測定します。怪我や痛みの程度をみていきます。 食事や行動範囲が広がることで症状の悪化がないか観察していきます。 * 痛みが強くなってきたり、痛いところが増えてきた時には我慢しないで教えてください。
注射	<ul style="list-style-type: none"> 水分が取れるようになり食事が開始になるまでは、点滴が必要になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 水分や食事がしっかりとれるようになれば、医師の指示で点滴が終了になります。
内服	<ul style="list-style-type: none"> 普段飲んでいるお薬を確認します。 薬の内服については医師の指示で開始になります。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には水分・食事はできません。 症状や検査結果で医師の許可ができれば水分・食事が開始になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可がでてから水分・食事が開始になります。
行動	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にベット上で安静に過ごしていただきます。 医師の許可があれば、怪我の程度や痛みに合わせて排泄の時だけベットから離れることができます。 医師の指示で行動範囲が広がります。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば、怪我や痛みの程度に合わせてベットを離れて動くことができます。
説明	<ul style="list-style-type: none"> 医師から怪我の状況や治療についての説明があります。 心配や不安なことがあればいつでもおっしゃってください。 病棟の面会時間などのオリエンテーションが看護師からあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師から検査の結果を含めて退院可能かどうかの説明があります。 退院の許可があれば退院することができます。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No. 230) 承認月日 (平成28年2月29日)

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名 :

続柄 :